

令和 8 年度 外部評価対象事業 論点整理表

1. 評価対象候補事業

第 4 回委員会にて、対象候補事業として選定されたのは下記の事業。

No	区分	部署	事業名
1	文化振興関係	市民文化局 文化部	サッポロ・シティ・ジャズ事業費
2	文化振興関係	市民文化局 文化部	文化芸術鑑賞促進費
3	地域振興関係	市民文化局 地域振興部	未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進費
4	子ども育成関係	子ども未来局 子ども育成部	若者出会い創出費
5	産業振興関係	経済観光局 産業振興部 (現在の所管は経営雇用支援部)	ワークトライアル事業費
6	産業振興関係	経済観光局 産業振興部 (現在の所管は経営雇用支援部)	就業サポートセンター等事業費
7	環境関係	環境局 環境都市推進部	電気自動車普及促進費
8	建設関係	建設局 土木部	建設産業活性化推進費

2. 評価の視点について

主に、下記の評価基準を参考に、評価を実施していただく。

評価基準	概要
ア) 必要性	・事業の目的・実施内容が、市民や社会のニーズ、又は、上位の施策の目的に照らして妥当と言えるか。 ・事業の目的や社会経済情勢の変化、時代背景等を踏まえ、必要な事業か、また、必要性は薄れていないか。 ・他の事業よりも優先的に実施すべきと言えるか。
イ) 有効性	・事業の実施により、目的や目標に照らして期待される効果は十分に発揮されているか。市民生活へ寄与しているか。
ウ) 効率性	・目的を達成するために効率的な手法により事業等が実施され、必要な場合には市内部の連携は十分に図られているか。 ・予算、人員等の規模に見合った効果が得られていると言えるか。 ・費用対効果は適切と言えるか。
エ) 担い手	・事業等の担い手について、事業等の効果の発揮の観点から客観的に妥当なものか。 ・市民ニーズ等に合致していても、民間に委ねることが可能であるなど、行政が担う必要があると言えるか。
オ) 公平性	・事業の目的に照らして、効果の受益や費用の負担が公平に分配されていると言えるか。
カ) 事業水準	・事業の目的や社会経済情勢の変化、時代背景等を踏まえ、事業の水準は妥当なものとなっているか。
キ) 指標の妥当性	・活動指標、成果指標の繋がりは合理的でわかりやすいか。指標達成度が低迷している場合、要因分析はされており、見直しの余地はないか。 ・事業目的に照らして著しく高い／低い指標設定をしていないか。

3. 個別事業の状況について

(1) No.1 サッポロ・シティ・ジャズ事業費（市民文化局）

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
有効性/指標 の妥当性	来場客数が増えない状況であることから、事業が有効な手法で実施されているか。

○論点・ポイント（たたき台）

- ・年間観客数を成果指標としているが、令和6年度の目標値21万1,000人に対し、実績が14万4,960人と目標未達成となっている。
- ・事業の効果分析をどのように考えるか。
- ・効果を最大限発揮するための事業実施手法は妥当か。

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・

(2) No.2 文化芸術鑑賞促進費（市民文化局）

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
必要性/有効性	コロナ禍に開始した事業という観点から、今後も継続していく必要性についてどのように考えるか。

○今後の論点・ポイント（たたき台）

- ・ 社会情勢の変化を踏まえ、事業の必要性をどのように考えるか。
- ・ 効果を最大限発揮するための事業の実施手法や事業水準として妥当か。
- ・ 事業の効果分析をどのように考えるか。

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・

(3) No.3 未来へつなぐ笑顔のまちづくり活動推進費（市民文化局）

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
必要性	現在の財政状況を踏まえると、事業の必要性の検討が必要ではないか
公平性/効率性 /有効性	予算額が3億6,000万円と大きい一方、広く薄く小さな事業を実施している。既得権益化していないか懸念がある。

○今後の論点・ポイント（たたき台）

- ・ 事業の必要性をどのように考えるか。
- ・ 予算額に対して効果的な事業効果が得られているか。
- ・ 事業の効果が広く市民に分配されているか。

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・

(4) No.4 若者出会い創出費（子ども未来局）

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
有効性/効率性	令和6年度実績において成果が出ていないため、事業の実施方法などを考える意味も含めて評価対象にすべきではないか。
担い手	行政がこのような事業を実施することに本当に意味があるのかを含めて検討したい。

○今後の論点・ポイント（たたき台）

- ・ 成果指標である成婚退会数が0件となっており、効果を最大限に発揮するための事業の実施手法は妥当か。
- ・ 札幌市が実施主体として本事業を行う必要性についてどのように考えるか。

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・

(5) No.5 ワークトライアル事業費（経済観光局）

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
有効性/効率性	予算規模9,600万円に対して、事業参加者が135人であることについて、対象は適正か。 また、予算規模が大きい中で、正社員登用された実績が58%程度という事業効果についてどのように考えるか。

○今後の論点・ポイント（たたき台）

- ・参加者数及び正社員登用実績等の効果に対して予算規模は妥当か

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・

(6) No.6 就業サポートセンター等事業費 (経済観光局)

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
有効性/効率性	予算額が大きい事業であるが、成果指標等が未達成であることから、評価対象とすべきではないか。

○今後の論点・ポイント (たたき台)

- ・活動指標、成果指標ともに未達成となっており、予算規模に対し、効果を最大限発揮するための事業の実施手法は妥当か。

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・

(7) No.7 電気自動車普及促進費（環境局）

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
必要性	社会情勢等を踏まえた上で本事業を行う必要性をどのように考えるか。
有効性	成果指標の達成度が低迷

○今後の論点・ポイント（たたき台）

- ・ 予算の執行率及び指標達成度が低迷していることから、電気自動車に係る社会情勢の変化等を踏まえた事業の必要性についてどのように考えるか。

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・

(8) No.8 建設産業活性化推進費（建設局）

○第4回委員会での主なご意見

評価基準	主なご意見
有効性	成果指標である「建設産業に対して魅力を感じる人の割合」について達成度が低迷している

○今後の論点・ポイント（たたき台）

- ・ 効果を最大限に発揮するための事業実施手法として妥当か

○所管部局へのヒアリング項目

- ・
- ・
- ・
- ・